

# 歴史探訪

## クラブ

其の  
204



History Inquiry Club

文化財課 ☎22-1720  
(博物館) FAX 22-2028

### 書の魅力

皆さんは書道展を見に行かれたことがありますか。書道展には書家が書いた漢字、仮名、近代詩文書、大字書、前衛書などのさまざまな分野の書が展示してあります。書は筆を使って墨で紙に文字を書きますが、子どもの頃に習う習字のように手本の通りきれいに書くだけではなく、自分の思いを文字に込める「書」として書きます。そのため、書にはそれぞれの魅力があり、じっくり鑑賞

すると興味を惹かれます。

書道展では漢字の書が最も多く見られます。漢字には楷書、行書、草書、隷書、篆書などのさまざまな書体があります。

また、仮名の書や漢字と仮名を組み合わせた書などもあります。写真にある3つの書のように漢字や仮名の線と構成によって、雰囲気がる違います。書家が自分の表現した

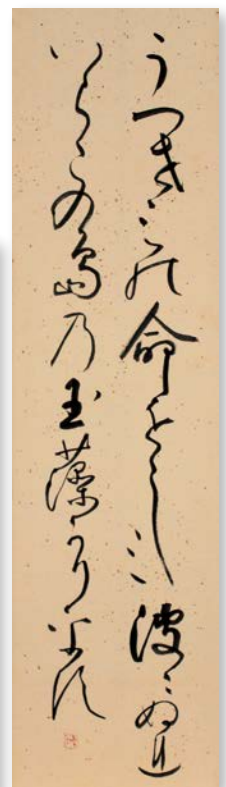


●鈴木翠軒筆 「桃源」 田原市博物館蔵

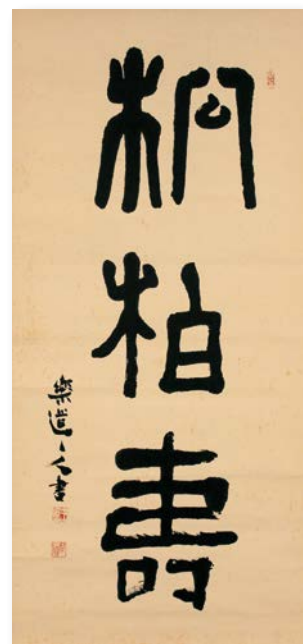
い漢字や仮名で、これまで学んできた書を元に、こだわりを持って書くため、人を引き付ける魅力ある「書」になります。

「書」を鑑賞するには、日展などの大規模な書道展から、個人の作品を展示する個展などさまざまな機会があります。書道展以外でも、地元和学校や市民館に残る書家の書、書家が揮毫（字や絵をかくこと）した作品が刻まれた石碑など、書を見る機会があります。

郷土ゆかりの書家として有名なのは、鈴木翠軒（明治22年～昭和51年）です。翠軒は日本書道界の重鎮になり、自らの流派（翠軒流）を打ち立てました。伊良湖畔には翠軒が揮毫した「万葉の歌碑（麻統王の歌）」や「桃源」の石碑があります。他にも、城宝寺の華山霊牌堂に翠軒らと共に



●高平泉山筆  
「万葉集 巻1-24 麻統王歌」  
田原市博物館蔵



●増山楽道筆 「松柏寿」  
田原市博物館蔵

天井などに書を揮毫した増山楽道（明治22年～昭和46年）、伊良湖にある「柳田國男逗留の地碑」などを揮毫した高平泉山（明治33年～平成9年）など、素晴らしい書を残された書家が郷土には大勢います。

田原市博物館では、現在、鈴木翠軒をはじめ、郷土ゆかりの書家の作品を展示しています。書の魅力を見にぜひお越しください。

（学芸員 清水俊輝）

#### ●田原市博物館 平常展

『田原の美術 生誕130年 鈴木翠軒の書』『田原の美術 郷土ゆかりの書家』開催期間…令和2年1月19日(日)まで